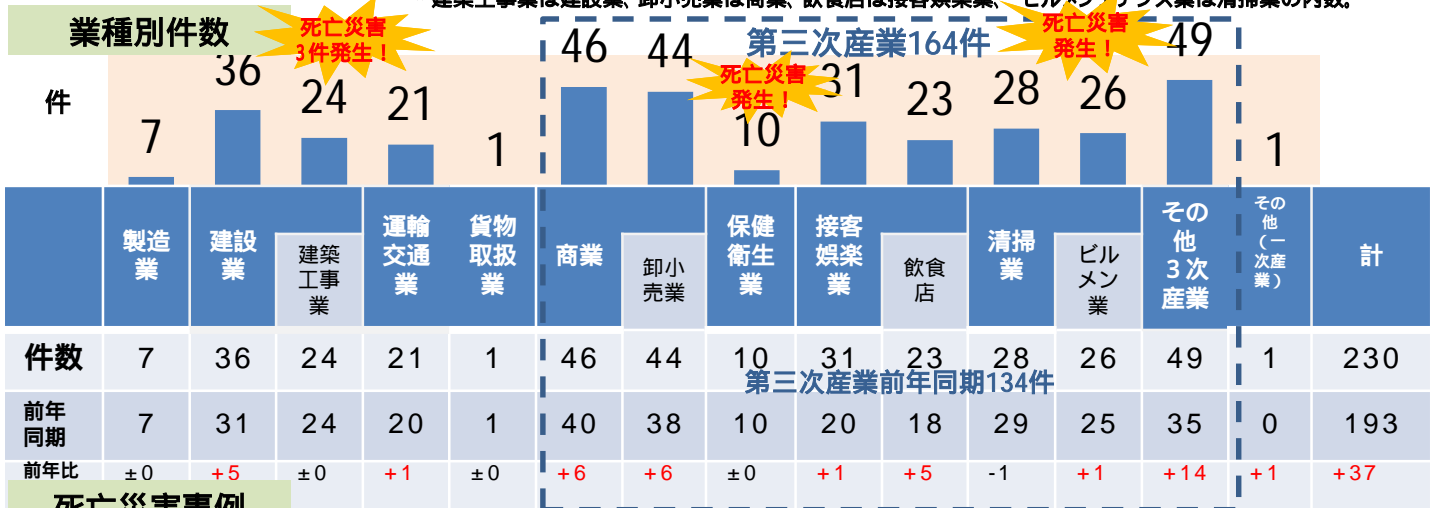


上野労働基準監督署管内の労働災害発生状況

○令和元年（速報値）

休業4日以上[※]の死傷災害（労働者死傷病報告データ）令和元年12月末現在

^{*} 建築工事業は建設業、卸小売業は商業、飲食店は接客娯楽業、ビルメンテナンス業は清掃業の内数。



死亡災害事例

| 発生月 | 業種 | 職種 年齢 経験年数 | 事故の型 | 発生状況 |
|-----|------------|---------------|-------|---|
| 2月 | 清掃業（ビルメン業） | 作業員 50代 20年以上 | 墜落・転落 | 屋上の鉄架台を吊元としてプランコを設置し、ビルの窓ガラス清掃作業を行っていたところ、吊元強度不足のため、プランコとともに地上に墜落したものの。 |
| 7月 | 病院 | 作業員 70代 5年以上 | 墜落・転落 | ブロック塀を足場として事務所の庭木剪定作業を行っていたところ、バランスを崩して地面に墜落した。 |
| 9月 | 建築工事業 | 作業員 30代 1年未満 | 墜落・転落 | 外部足場に設置されたリフト搬器から資材を建物内に搬入する作業中に、足場と建物との隙間から地面まで墜落したものの。 |
| 10月 | 建築工事業 | 監督員 20代 5年未満 | 墜落・転落 | 監督員がエレベータ乗場開口から昇降路内に墜落したものの。 |
| 11月 | 建築工事業 | 作業員 60代 5年以上 | 崩壊・倒壊 | 掘削底において土止め壁に付着した土を除去していたところ、背後の土砂が崩壊したものの。 |

死亡災害5件発生！
死傷災害も230件超え！

・死亡災害は墜落災害4件を含む5件発生し、特に建設業にて秋季に3件発生しています。

・休業4日以上[※]の死傷災害は230件（12月末速報値）と、昨年に続き200件を超えて発生し、現時点で昨年確定値224件を超えています。

・業種別では商業46件、建設業36件、清掃業28件の順となっています。また、多くの業種で昨年同期より増加しています。

緊急！STOP！死亡災害 リスクを低減し 重大災害ゼロへ

上野労働基準監督署管内（台東区）において死亡災害が急増しています。慌ただしくなる年末・年始に向けて、安全管理の徹底をお願いします。

全業種共通

- ・企業トップの安全衛生方針の表明
- ・リスクアセスメントの実施による安全な作業方法の確立
- ・安全衛生教育の実施

交通労働災害対策

- ・適正な労働時間管理、走行管理、健康管理の実施
- ・交通危険予知訓練等の教育の実施
- ・交通安全情報マップによる危険箇所の共有

墜落・転落災害対策

- ・高所作業自体を除去・低減するための計画的取り組み
- ・墜落防止設備の使用、墜落制止用器具の使用
- ・脚立・はしご等、用具の適正使用

挟まれ・巻き込まれ対策

- ・機械可動範囲への囲い・覆いの設置
- ・安全装置の有効保持
- ・点検、修理時等における機械の停止

年末・年始 Safe Work 推進強調期間

Safe Work TOKYO K 期間

令和元年12月1日（日） から 令和2年1月31日（金）